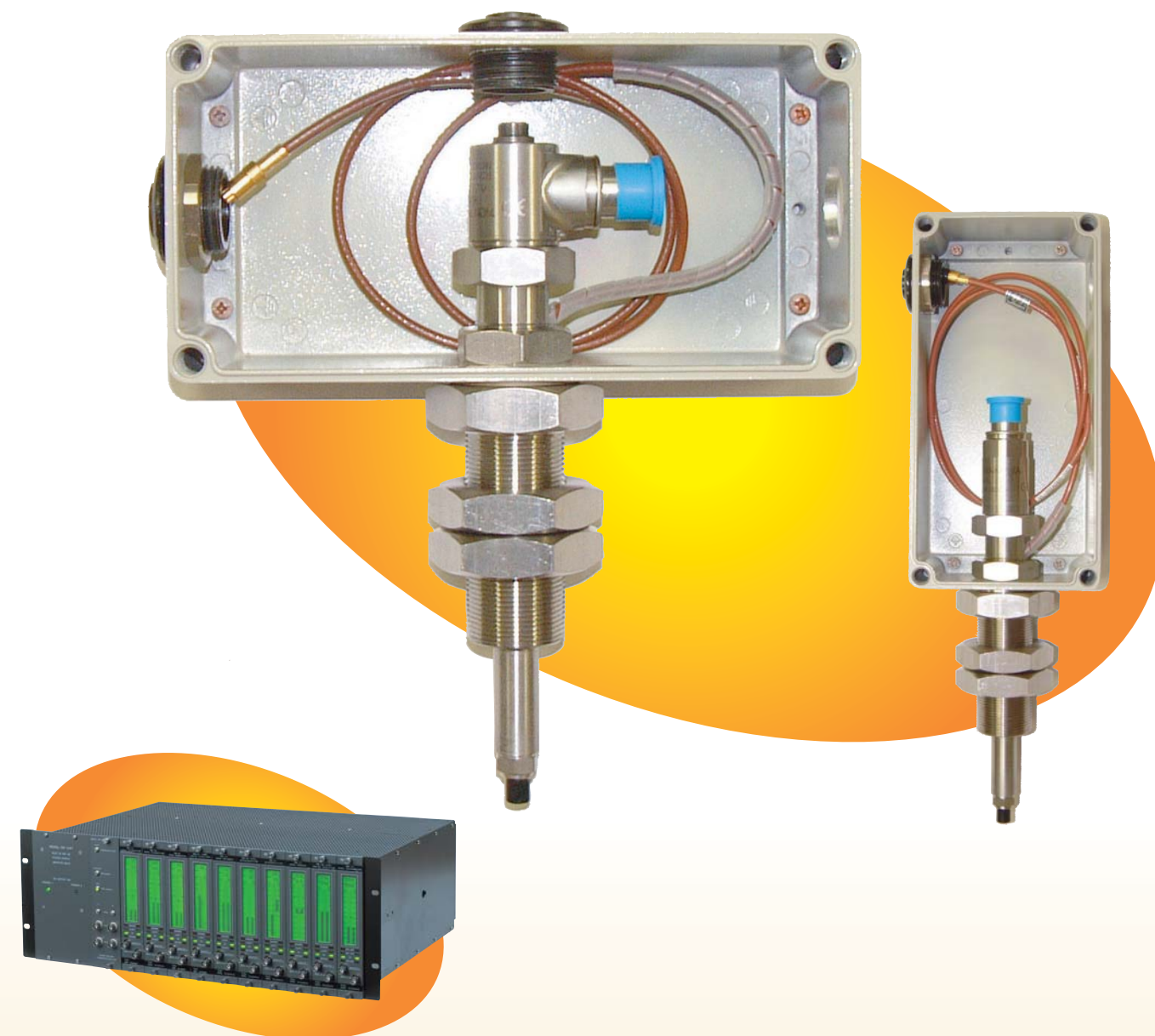


DVM-55

デュアルトランスデューサ 振動監視システム



お問い合わせは下記へ

※記載された会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

2005年7月発行

販売元 新川電機株式会社

東京本社 〒102-0083東京都千代田区麹町4丁目3-3新麹町ビル3F
TEL.(03)3263-4411(代) FAX.(03)3262-2171
広島本社 〒730-0029広島県広島市中区三川町10-9
TEL.(082)247-4211(代) FAX.(082)249-6438
URL : <http://www.shinkawa.co.jp/>

米国現地法人 SEC of America Inc.

6934 Beach drive SW, Ste.4, Ocean Isle Beach TEL.1-910-579-3220
NC 28469-5797, USA FAX.1-910-575-3238
URL : <http://www.sec-america.com/> E-Mail info@sec-america.com

製造元 新川センサテクノロジー株式会社

広島工場 〒739-0153広島県東広島市吉川工業団地4-22
TEL.(082)429-1118(代) FAX.(082)429-0804

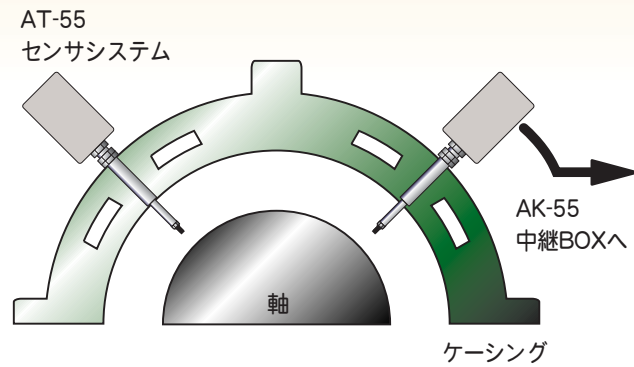
製品情報は [こちら](http://www.sst-shinkawa.co.jp/)

E-Mailでのお問い合わせは [こちら](mailto:info@sst-shinkawa.co.jp)

※仕様、外形、その他記載内容は予告なく変更することがありますので予めご了承下さい。

- モニタ内部での演算処理により軸の絶対振動を測定可能
- 設置場所を考慮し、2タイプのセンサシステムを準備

タービン監視計器に絶対振動をラインナップ!



DVM-55 デュアルトランスデューサ振動監視システムは、センサシステムとモニタユニットで構成されています。センサシステムは軸相対振動を検出する渦電流変位センサ(VL-202A08R)と、ケーシング振動を検出する速度トランスデューサ(CV-86又はCV-88)で構成されています。モニタユニットは、センサシステムから得られる2つの信号を演算処理することにより、ロータとセンサを直接接触させることなく、軸の絶対振動を測定することができます。

AT-55 センサハウジング

AT-55は、渦電流変位センサと速度トランスデューサとで構成されたセンサハウジングです。縦型タイプと横型タイプの2種類を準備しています。

* センサは別途手配が必要です

AK-55 中継BOX

AK-55は、VKドライバとCWケーブル中継端子台を収納する中継ボックスです。

* ドライバとケーブルは別途手配が必要です

VL-202A08R 渦電流変位センサ

VL-202A08Rは、軸の相対振動を検出する非接触タイプの渦電流変位センサです。

CV-86/CV-88 速度トランスデューサ

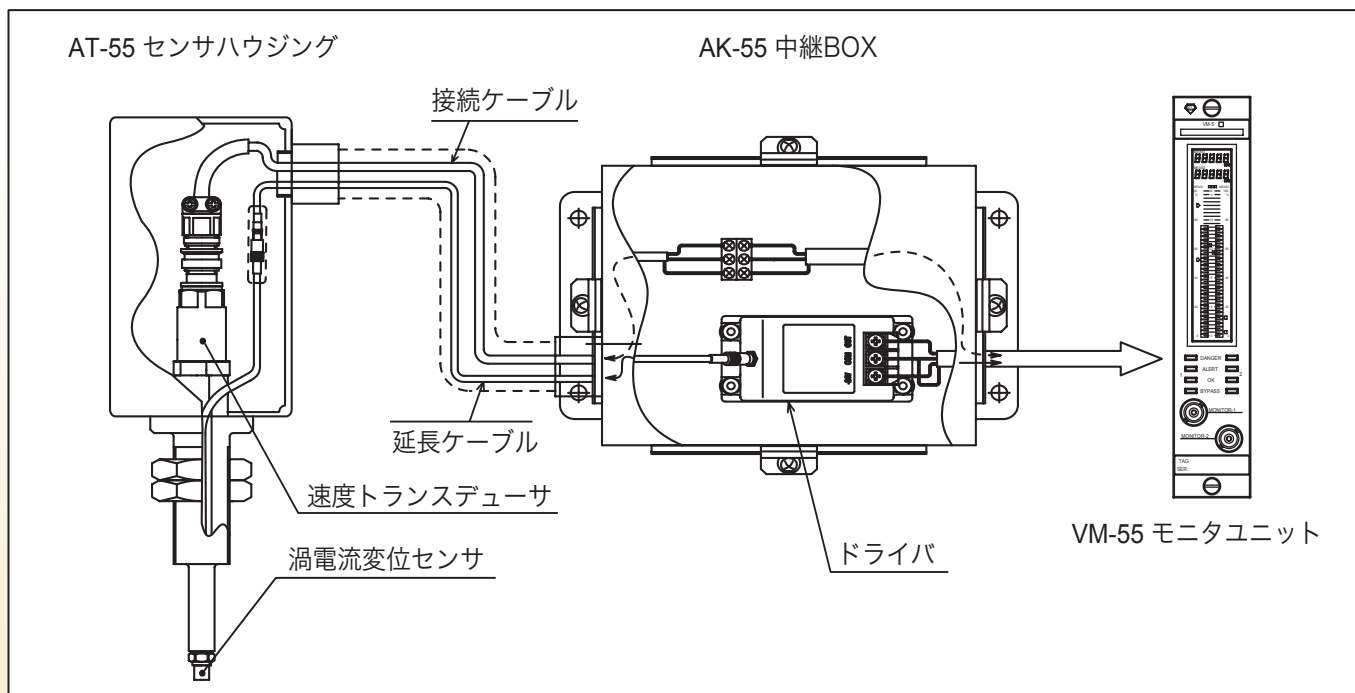
CV-86又はCV-88はケーシング振動を検出する接触タイプの速度トランスデューサです。

VM-55 振動モニタ

VM-55は、センサシステムから得られた2つの信号(渦電流変位センサから入力された軸相対振動と、速度トランスデューサから入力されたケーシング振動)を演算処理することにより、軸の絶対的な振動を測定します。



◆ システム構成図 (DVM-55)



◆ 仕様

VK-202A 変位トランスデューサ

標準校正ターゲット	JIS SCM440 平面
リニアレンジ	2,000 μm 以上
スケールファクタ	787mV/100 μm
使用温度範囲	センサ : -40~+177°C 延長ケーブル : -40~+177°C ドライバ : -38~+80°C
電源	-24VDC \pm 10%
システムケーブル長	5m \pm 10% または 9m \pm 10%

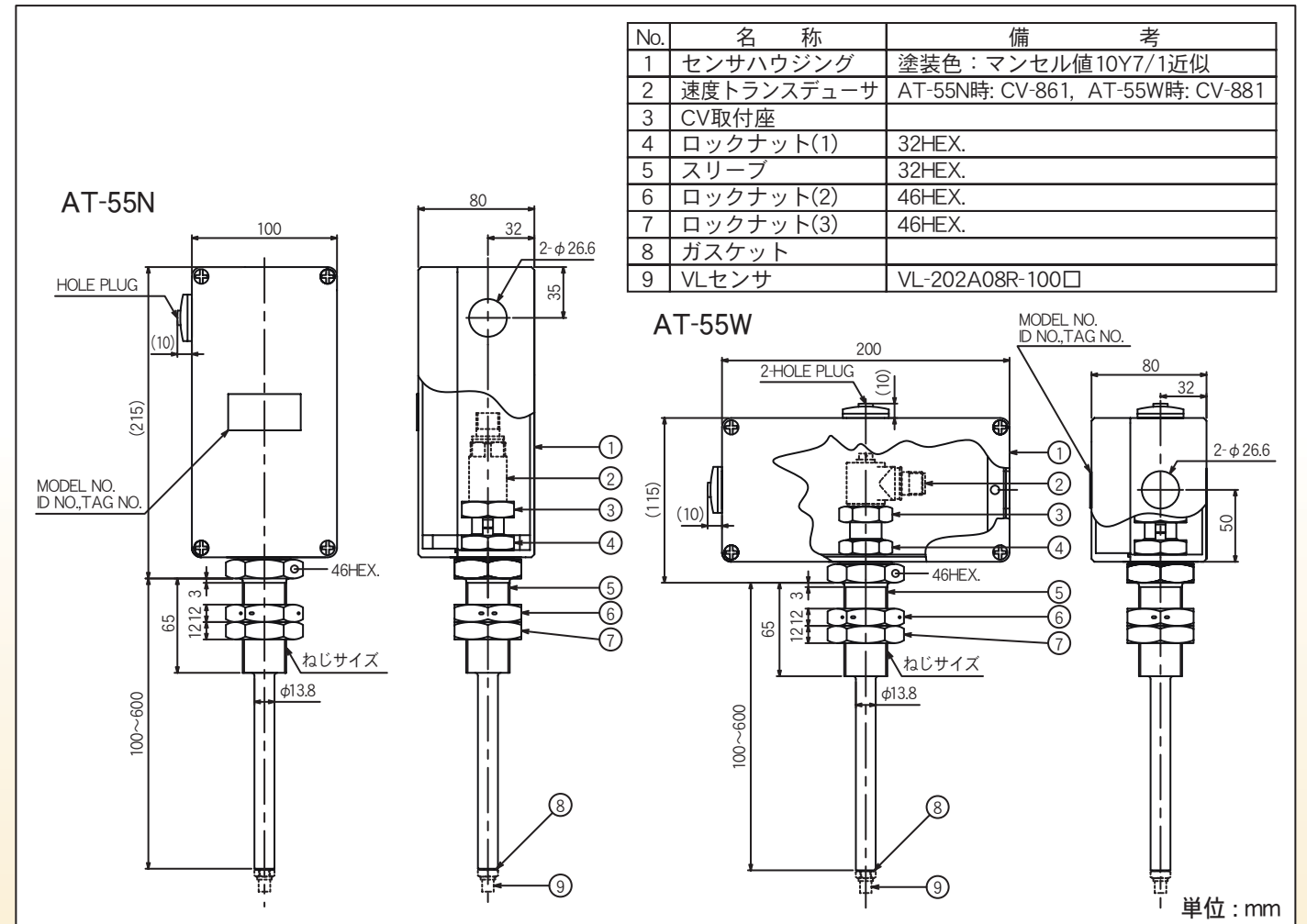
CV-86 / CV-88 速度トランスデューサ

感度	3.94mV/mm/s pk \pm 5% at 100Hz, 25°C
最大速度振動	1,270mm/s pk
耐振性	2,450m/s ²
周波数応答	2.5~3,500Hz \pm 10%, 2~7,000Hz \pm 3dB
使用温度	-50~+120°C
電源	18~30VDC, 2~10mADC (定電流)

VM-55 振動モニタ

入力トランスデューサ (入力スケールファクタ)	CH1: VK-202A (787mV/100 μm) CH2: CV-86又はCV-88 (3.94mV/mm/s)
モニタレンジ	0~200 μm pk-pk, 0~400 μm pk-pk 0~500 μm pk-pk, 0~10mils pk-pk, 0~15mils pk-pk
周波数応答	10Hz~600Hz
レコーダ出力変換精度	\pm 3.0% of F.S. at 100Hz at 25°C \pm 5.0% of F.S. at 100Hz at 0~65°C
レコーダ出力 (DC OUTPUT) (裏面より)	モニタレンジに比例した電圧又は電流出力 1~5VDC (出力インピーダンス: 250 Ω) 4~20mADC (最大抵抗負荷: 500 Ω)
出力信号選択	CH1: REL, CH2: ABS 又は CH1: REL, CH2: SEIS 選択 * ABS (軸絶対振動), REL (軸相対振動), SEIS (サイズミック振動/変位振動(振幅)に変換した出力)
温度範囲	使用温度 : 0~65°C 保存温度 : -30~+85°C 相対湿度 : 20~95%RH (非凝結)

◆ センサハウジングシステム外形



DVM-55

※詳しい仕様、外形図、型名コードは、当社ホームページ(<http://www.sst-shikawa.co.jp/>)をご覧ください。